

平成27年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成26年度実績)

担当課 06世界遺産推進課

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	3575	事務事業コード	0603
事務事業名	世界遺産普及啓発・情報発信事業				開始年度	平成16	終了年度	平成29
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	無し		
将来ビジョン	2. 観光等交流人口の拡大 (1)観光の振興						H25: 重点●政策○	○
H26施政方針	1. 人口減少対策 (5)観光等交流人口の拡大						H26: 重点●政策○	○
H27施政方針	1. 人口減少対策 (3)特色ある地域づくり ② 地域資源を活用した活性化						H27: 重点●政策○	○
事業概要	①世界遺産普及啓発・情報発信事業(講演会やシンポジウムを通じて登録に向けた機運の醸成) ②世界遺産出前授業・親子現地見学会事業(市民の方に世界遺産を身近に知っていただくための事業) ③展覧会等各種展示事業(パネルなどの展示を巡回展方式で市内各地で行う) ④各種学習資料作成事業(新小学4年生及び新中学1年生へ佐渡金銀山に関する副読本を配布)							
対象	世界遺産登録に向けた市民への普及啓発活動							
意図(対象をどのようにしたいか)	世界遺産登録推進への理解と文化財保護の機運の高まりを市民並びに佐渡出身者に対して行う							

Do

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	25年度実績値	26年度(評価年度)		27年度目標値	28年度目標値	31年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	普及・啓発事業参加者(延べ参加者数)	人	25934	28050	29986	30000	30000	30000
算式	-							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名		H25決算額	H26決算額		H27当初予算額	H28以降の予算の方向性		重点細事業
	指標	目標(成果)指標名	単位	H25実績値	目標値	実績値	H27目標値	事業の方向性	
1	世界遺産普及啓発・情報発信事業		3,949	2,645		3,306	予算	維持	○
	指標	シンポジウム・講演会参加者数	人	2076	1750	2484	1700	事業	
2	世界遺産出前授業・親子現地見学会事業		335	246		1,078	予算	維持	
	指標	参加者数	人	2843	3000	1539	4000	事業	
3	展覧会等各種展示事業		1,298	1,562		1,142	予算	維持	
	指標	参加者数	人	21015	25000	25963	25000	事業	
4	各種学習資料作成事業		2,426	1,567		598	予算	増額	○
	指標	配布部数	部	-	3000	3162	3000	事業	
5	普及啓発物作成事業		-	4,255		6,249	予算	増額	◎
	指標	作成種類数	種類	-	-	13	20	事業	
事業費の合計(千円)			8,008	10,275		12,373			
財源内訳	国庫支出金		1,750	1,750		1,000			
	県支出金		875	875		500			
	地方債		0	0		0			
	その他		0	0		0			
	一般財源		5,383	7,650		10,873			

Check

◆事務事業を構成する細事業の評価◆

A : 適正である B : 検討の余地あり C : 見直しすべき

枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	世界遺産普及啓発・情報発信事業	A	A	A	
2	世界遺産出前授業・親子現地見学会事業	A	A	A	
3	展覧会等各種展示事業	B	B	B	スポーツイベントのブース設置や地域巡回写真展、佐渡博物館での特別展示などを開催してきたが、観覧者が限定的であり、内容等も含め検討が必要である。構成資産の写真パネル等を積極的に貸し出し、民間団体のイベントなどで積極的に活用してもらいたい。
4	各種学習資料作成事業	A	A	A	

5	普及啓発物作成事業	B	A	A	普及啓発物については、ロゴマークなど民間団体でも積極的に活用してもらっているが、効果的な表出までには至っていないのが実情である。今後も、市の主催する事業参加者や郷土会や民間団体を通じて市外の方々に対しても啓発物を配布・浸透させたい。
---	-----------	---	---	---	--

Action	◆今後の事務事業の方向性◆
---------------	---------------

評価(担当課長)	事業の方向性	拡充	予算の方向性	増額
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)	世界遺産登録に向け、官民一体となった更なる普及促進事業が必要である。そのため、平成29年度登録に向け、特に市民の盛り上げりを重点に強化すべきである。			